

2027 年度 同志社大学

グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース

外国人留学生公募制推薦選抜入学試験要項

外国人留学生公募制推薦選抜入学試験 アドミッション・ポリシー

グローバル・コミュニケーション学部日本語コースで学ぶ高い意欲を持つ人物を選抜することを目的とした公募制推薦選抜入学試験です。この入学試験では、日本語重視型と英語重視型のどちらかを選択しますが、それぞれに応じた出願条件を満たしていることが必要です。日本語重視型の入学試験では、日本語の運用に関して高い能力・知識が備わっていることを評価するため、1) 日本語のスピーチコンテスト等での上位入賞、あるいは、2) 日本語に関する所定の外部試験における一定以上のスコア取得を求めています。また、英語重視型の入学試験では、高い英語運用能力が備わっているかを評価するため、1) 英語を母語とする者であることの証明、あるいは、2) 英語に関する所定の外部試験で所定のスコアを取得していることを求めています。また、日本語の運用に関しても、必要な能力・知識が備わっていることを評価するため、日本語に関する外部試験で一定以上のスコアを満たしていることが必要となります。

いずれの場合においても、出願書類では志望理由書の提出を求め、「主体性・多様性・協働性」を評価しています。また、小論文では学部で学ぶために必要な「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」が備わっているかを測るために、日本語の文章を読んだ上で、その内容や自分の考えを論理的に述べてもらいます。さらに、口頭試問では、日本語の「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」を測るとともに、「主体性・多様性・協働性」も備わっているかなどを適正に評価します。このように公募制推薦選抜入学試験では、出願書類、小論文、口頭試問を通じて、学力の3要素「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を総合的に審査します。とりわけ、本入試においては、優れた「知識・技能」と、それに基づいた高い「思考力・判断力・表現力」を重視します。

アドミッション・ポリシー	
	グローバル・コミュニケーション学部では、一定期間の留学を含むカリキュラムを通して、実践的外国語運用能力を伸長すると共に、幅広い知識と教養を身につけることにより、グローバル社会で卓越したコミュニケーション能力を駆使し、facilitator、negotiator、administrator として活躍できる人材の育成を目的としています。そのために、次のような学生を求めています。
グローバル・コミュニケーション学部の求める学生像	
知識・技能	グローバル社会を舞台に活躍するためには、多様な価値観に目を向け、背後にある社会や文化に関する確かな理解が求められます。また、外国語で発信された情報を正しく理解できることはもちろん、自らの考えを外国語で的確に表現する能力を磨いていく必要があります。本学部の数値的な到達目標は、英語コースは TOEFL iBT®テスト 79 点 (ITP550 点) 相当以上及び TOEIC® Listening & Reading Test 850 点以上、中国語コースは中国語検定 2 級ないし HSK 6 級 (合計点の 6 割以上のスコア獲得を合格とみなす)、日本語コースは日本語実用テスト (J テスト) 準 A 級ないしビジネス日本語能力テスト (BJT) J1 レベルです。これらの目標に向かい、継続的に努力ができる学生を求めています。

<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>グローバル社会の様々な問題についての議論に加わっていくためには、多様な視点が存在することを十分考慮しながら、筋道を立てて考えることが必要です。状況に対して十分な観察を行い、問題点を整理し、自らの分析をしっかりと根拠と共に説明できなければいけません。論理的に思考し、自らのことばで意見を述べることができる学生を求めています。</p>
<p>主体性・多様性・協働性</p>	<p>世界には多様な文化、言語、社会があり、政治・経済や環境問題などもこれらと密接に関わっています。そのような中で、グローバルな人材となるためには、異なる文化や価値観を持つ人々に対する寛容の精神と、偏見にとらわれず相互理解に向けての努力を惜しまない姿勢が求められます。異なる背景を持つ人々と様々な違いを乗り越えて協働しながら、1つ1つの課題に対して主体的に取り組むことができる学生を求めています。</p>
<p>大学入学までの学習で身につけてほしいこと</p>	
<p>日本語</p>	<p>日本語コースはグローバル化する日本社会を舞台に facilitator、negotiator、administratorとして活躍し得る高度な日本語能力を持つ人材の養成を目標に掲げています。この目標を達成するためには、「聞く、話す、読む、書く」の4技能をバランスよく身につけておく必要があります。入学後、日本語で講義を聞き、自分の言葉で意見を述べられるよう、また、専門的な文献を読んだり、レポートを書いたりすることができるよう、しっかりと基礎を作ることが重要です。</p> <p>その上で、日本語の文章の内容を正確に理解し、趣旨を的確に把握し、その内容について批判的に考察できる読解力や、根拠や例を示して自己の考えを論理的に組み立て、まとめることのできる表現力を身につけるようにしてください。外国語を学ぶということは、単に文法や語彙を学ぶだけではなく、その背後にある文化を学ぶことであり、新しいものの見方や考え方、表現法やコミュニケーションの方法を学ぶことでもあります。ことばの学習に対する積極的な姿勢を何よりも大切にしてください。</p>
<p>英語</p>	<p>人間の豊かなコミュニケーションは「ことば」を基本に成り立っています。21世紀に入り、人びとの諸活動は世界規模で国境を越えて相互に浸透するようになり、ビジネスではもちろん、政治や教育、文化交流などあらゆる分野で、異なる文化の人と人とを結ぶコミュニケーションの能力が求められています。その際、世界で最も広く使われている「ことば」の一つが英語で、グローバル社会で活躍するために必要な言語です。そのため、一定のレベル以上の英語力を習得した人物を求めています。</p> <p>望ましい水準の目安としては、TOEIC® Listening & Reading Test 500点(あるいはそれと同等)以上を挙げるができます。ただし、TOEIC® Listening & Reading Testの数値は一つの目安であって、外国語能力試験の成績を伸ばすことだけが英語学習の目的ではありません。日ごろから、英語ということばに関心を持ち、「聞く、話す、読む、書く」の4技能をバランスよく伸ばすことに留意してください。</p>

地理歴史・公民	<p>「ことば」は人間社会のなかで機能します。ことばの働きを理解し、ことばを使って効果的にコミュニケーションができるようになるためには、ことばの背後にある社会、文化の理解が不可欠です。地理歴史、公民を含む日本留学試験「総合科目」の望ましい水準の目安としては、おおむね 120 点以上を挙げるすることができます。幅広い視野を持って、社会、文化に関する基礎的な知識を身につけるようにしてください。世界・日本と自国の歴史・文化や、グローバル化する現代の政治・経済に関心を持ち、主体的に考える力を養うことで、本学部での学びはより豊かなものになります。こうした力を養うためにも、新書、入門的な専門書、新聞の社説・評論などを積極的に読むように心がけてください。</p>
---------	--

1. 募集学部・学科・コース・募集人員

【2027年4月 第1年次入学】

学部・学科・コース		募集人員
グローバル・ コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース	A区分(日本語重視型)・ B区分(英語重視型) あわせて10名

2. 出願資格 外国籍を有し、以下の(1)～(3)の要件をすべて満たす者。

(1)以下のいずれかに該当する者。

- 1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2027年3月末日までに修了見込みの者。

(注意事項)

※「外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2027年3月末日までに修了見込みの者」とは、「外国の高等学校を卒業した者または卒業見込みの者」が対象である。外国の高等学校には、「日本にある外国人学校」および「文部科学大臣が認定した在外教育施設」は含まない。

※日本の学校教育法にもとづく小学校・中学校・高等学校等に在学した者は、その期間が通算4年以内である場合に限る。

※「日本にある外国人学校」および「文部科学大臣が認定した在外教育施設」に在学した場合は、その在学期間を日本の学校教育法にもとづく小学校・中学校・高等学校等に在学した者と同様とみなす。

- 2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力を認定する当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で、2027年3月末日までに18歳に達するもの。
- 3) 中等教育の課程修了まで12年を要しない国の学校教育を修了した者で、文部科学大臣が指定した「我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程(準備教育課程)」を修了したもの、および2027年3月末日までに修了見込みのもの。
- 4) 外国において高等学校に対応する学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者、および2027年3月末日までに修了見込みの者。
- 5) 国際バカロレア、アビトウア、バカロレア、GCEALレベル、国際Aレベル、欧州バカロレアのいずれかの資格を外国において取得した者。
- 6) その他学部教授会において、前記1)～5)と同等以上の資格を有すると認められた者で、2027年3月末日までに18歳に達するもの。

(2) 同志社大学グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科日本語コースで学ぶことを強く希望する者。

(3) 以下の A 区分もしくは B 区分のいずれかに該当する者。

【A 区分:日本語重視型】

1) もしくは 2) の要件のいずれかを満たし、かつ、3) の要件を満たす者。

1)	日本語弁論大会、日本語スピーチコンテスト等の上位入賞者。
	上位入賞者とは全国大会における受賞者、地方大会における 3 位以上の入賞者、その他の大会における優勝者等を指す。
2)	以下の①~③のいずれかに該当する高度な日本語能力を有する者。
	① 日本語能力試験 (JLPT) N1 を受験しスコアが 90 点以上であること、または、N2 合格でスコアが 120 点以上であること
	② 日本留学試験 (EJU) 293/450 点以上
	③ 日本語能力試験 (JPT) 650 点以上
3)	高等学校において英語を履修していること。
	※3) の条件に該当しない場合であっても、英語を母語とする者、または英語が公用語となっている国・地域に居住する者で、通常の課程による直近 6 年間の学校教育を英語で受けたものは、「高等学校において英語を履修している」とみなす。

【B 区分:英語重視型】

1) もしくは 2) の要件のいずれかを満たし、かつ、3) の要件を満たす者。ただし、【A 区分:日本語重視型】の 2) を満たす者を除く。

1)	英語を母語とする者、もしくは英語が公用語となっている国・地域に居住する者。
	通常の課程による直近 6 年間の学校教育を英語で受けたことを証明する出身学校作成の書類を提出できる者に限る。
2)	次の①~④のいずれかに該当する英語能力を有する者。
	① TOEFL iBT®テスト 2026 年 1 月 20 日以前に実施された試験:68 点以上 2026 年 1 月 21 日以降に実施された試験:Overall Score 4 以上 ※TOEFL iBT®スコアは「Test Date スコア」のみを活用する。 「MyBest™ スコア」は活用しない。 TOEFL iBT® Home Edition で取得したスコアは対象としない。 ※TOEFL iBT®テストのスコアは以下のとおり取り扱う。

		2026年1月20日以前に実施された試験:0-120で示されたスコアを対象とする。 2026年1月21日以降に実施された試験:1-6のバンドスコアを対象とする。
2)	②	TOEFL ITP®テスト 520点以上
	③	TOEIC®Listening & ReadingTest (TOEIC®テスト) 650点以上
	④	IELTS アカデミック・モジュール (IELTS コンピューター版、IELTS for UKVI を含む) ※IELTS オンライン版は対象としない。 ※「IELTS One Skill Retake」で取得したスコアは認めない。 5.5以上
3)	以下の①~③のいずれかに該当する日本語能力を有する者。	
	①	日本語能力試験 (JLPT) N2 合格
	②	日本留学試験 (EJU) 200/450 点以上
	③	日本語能力試験 (JPT) 525 点以上

■注意事項

出願資格(1)6)に該当する者は、必要書類を提出する必要がありますので、2026年9月17日(木)までに京田辺キャンパス教務センター(グローバル・コミュニケーション学部)(電話0774-65-8993)までお問い合わせください。

3. 出願手続 出願は郵送にかぎります。

(1) 出願日程・方法

受付期間

2026年10月26日(月)~2026年11月2日(月) 締切日必着

出願方法

日本国内から出願する場合

封筒の表に「外国人留学生公募制推薦選抜入学試験願書在中」と朱書きのうえ、簡易書留速達郵便で郵送してください。

日本国外から出願する場合

国際スピード便(EMS)または国際宅配便で郵送してください。

宛先 〒610-0394

京都府京田辺市多々羅都谷 1-3

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部事務室

Faculty of Global Communications

Doshisha University

1-3 Tatara Miyakodani, Kyotanabe City,

610-0394 Japan

(2) 入学検定料および納入方法

1) 入学検定料 15,000 円


2) 納入方法

クレジットカードで納入する場合

インターネット上でクレジットカードを利用して支払うことができます。手順を次に示しますので、手順に従って準備してください。

同志社大学

クレジットカードでの検定料支払い方法

クレジットカードを利用して検定料のお支払いが可能です。    

Web申込み〜クレジット決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、
お支払いに必要な番号を取得。

<https://e-shiharai.net/>



1. お支払先選択	お支払い先を選択してください。
2. 学校選択	申し込みする学校を選択してください。
3. 学校案内	案内事項と「利用規約および個人情報の取扱い」の内容を確認し、「同意する」をクリック。
4. カテゴリ選択	第1～第4選択を選び、整理番号を入力し「次へ」をクリック。
5. 基本情報入力	受験者本人の基本情報を入力してください。 支払い方法(クレジットカード)を選択し、「次へ」をクリック。
6. カード情報入力	支払いに利用するカード番号等を入力してください。 お支払いされるカードの名義人は受験者本人でなくても構いません。
7. お支払い内容確認	入力内容が表示されますので、よろしければ「申込みを確定する」をクリック。(クリックは一度だけ、即時決済されます)
8. 確定 [カード決済完了]	【受付番号】を控えてください。 E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「申込内容照会結果」を印刷してください。 <small>※スマートフォン、タブレット端末でお申し込みされた方は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。</small>

*支払時の注意

- ・入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。
- ・クレジットカードの名義人は、出願者本人でなくても構いません。ただし、基本情報入力画面では、必ず出願者本人の情報を入力してください。
- ・インターネット上での決済が終了したら、決済完了時の画面（収納証明書でも可）をA4もしくはレターサイズなどそれに準ずる用紙で2枚印刷してください。1枚は出願書類とともに提出してください。もう1枚は出願者本人が保管してください。また、必ず「受付番号」を控えておいてください。

- ・決済完了画面を印刷し忘れた場合は、申込内容照会画面にて、申込時に通知された「受付番号」と「生年月日」を入力すると、再表示されます。
- ・登録されたE-mailアドレスに受付完了メールが送付されます。
- ・支払の決済は「円建て」で行われます。日本円への換算は、利用代金を国際提携組織の決済センターが処理した時点で適用した交換レートが適用されます。詳しくは、利用するクレジットカード会社へお問合せください。
- ・カード審査が通らなかった場合も、クレジットカード会社へ直接お問合せください。

日本国内の金融機関で納入する場合（日本国内居住者のみ）

本学所定の振込依頼書（様式④）を用い、金融機関の窓口から「電信扱」で振り込んだ後、必ず振込金証明書を本学所定の「入学検定料振込金証明書 貼付用紙」（様式⑤）に貼付して出願書類とともに提出してください。

納入後、様式④の **B** 票、**C** 票に取扱金融機関収納印が押してあることを確認してください。振込金証明書を貼付していないもの、および取扱金融機関収納印のないものは、出願を受理しません。

なお、振込依頼書に記載した本学指定金融機関の本・支店窓口から納入される場合の手数料は不要です。

※現金自動預払機（ATM）による振込およびゆうちょ銀行からの納入は受け付けません。

外国送金で納入する場合(日本国外居住者のみ)

日本国外から送金する場合、日本の銀行でかかる手数料 2,500 円が加算されますので、**17,500 円**になります。

クレジットカードをお持ちの場合は、可能なかぎり、クレジットカードで納入してください。

送金種別	電信送金 (Telegraphic Transfer)
送金方法	口座振込 (Advise and Credit)
送金手数料	送金時手数料は送金人負担&受取時手数料は受取人負担 [SHA] (Local charges borne by remitter & overseas charges by beneficiary [SHA])
通貨	日本円 (JPY)
送金額	17,500 円
送金先口座	
銀行名	三井住友銀行 (SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION)
支店名	ラベンダー支店 (LAVENDER Branch)
銀行住所	〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町8 (8 Naginataboko-cho, Karasuma-higashiiru, Shijo-dori, Shimogyo-ku, Kyoto, 600-8008, JAPAN)
SWIFT ADDRESS	SMBCJPJT
預金種類	普通預金 (Ordinary Account [Savings Account])
口座番号	976-0100112
受取人名	同志社大学 (Doshisha University)

***送金時の注意**

- ・必ず金融機関窓口から送金してください(インターネットバンキングでの送金は不可)。
- ・送金者の名義は出願者本人としてください。
- ・受取人名には「Doshisha University」以外入力しないでください。
- ・送金手数料は「OUR」ではなく「SHA」で送金してください。「OUR」にすると2,500円の過剰額が発生します。
- ・取扱金融機関収納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等を出願書類とともに提出してください。

3) 納入期日 2026年11月2日(月)(期日後の納入は出願を受理しません。)

※いったん納入された入学検定料は返還いたしませんので、注意してください。

(3) 出願書類

- 1) 記入の際は、黒のボールペン(鉛筆や消せるペンの使用不可)を使用してください。修正テープなどは使用しないでください。
- 2) 特に指定のある場合を除き、出願書類はすべて日本語または英語で記入したものを提出してください。
- 3) 卒業(修了)証明書、成績証明書等が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、以下の(1)(2)いずれかの日本語訳(または英語訳)を提出してください。
 - (1) 本国大使館または在日外国公館で翻訳公証を受けた日本語訳(または英語訳)
 - (2) 出身日本語学校(または出身高校)で作成した日本語訳(または英語訳)

出身日本語学校(または出身高校)で作成した場合には、必ずその学校の公印が必要です(コピー不可)。なお、翻訳会社による翻訳は認めません。
- 4) 一度提出した書類の返却は原則として行いません。ただし、「卒業証書」「学位記」等、一度しか発行されない書類の原本のみ返却します。原本の返却を希望する場合は、出願時に必ず「返却依頼書(本学所定 様式⑦-2)」(「返却を希望する書類の名称」「返却先住所・氏名」を記載)を提出してください。**「返却依頼書(本学所定 様式⑦-2)」が出願書類と一緒に同封されていない場合は、書類の返却は一切行いません。**なお、原本公証を受けたコピーは原本と同等とはみなしません。
- 5) 出願書類の不足等、出願書類に不備がある場合は、出願を受理しません。提出前に書類チェックシート(本学所定 様式⑦-1)と照らし合わせ、不備がないことを必ず確認してください。また、書類チェックシート(本学所定 様式⑦-1)に記入のうえ、同封してください。
- 6) 出願後は、出願内容についての変更・取消は一切認めません。

	出願書類	注意事項	チェック
1	同志社大学入学願書 本学所定 様式①-1	①出願者本人が自筆で、日本語で記入してください。 ②写真(14頁参照)を貼付してください。 ※写真票にも写真が必要です。	<input type="checkbox"/>
2	志望理由書 本学所定 様式①-2	出願者本人が日本語で自筆にて記入してください。	<input type="checkbox"/>
3	出身高等学校卒業(修了)証明書 または 卒業(修了)見込証明書	原本(オリジナル) に限ります。原本の返却を希望する場合は申し出てください。前記3)、4)参照。 ※大学を卒業している場合は、大学卒業(修了)証明書も提出してください。	<input type="checkbox"/>
4	出身高等学校の成績証明書	①在学中の各学年の成績が記入されたものを提出してください。 ② 原本(オリジナル) に限ります。原本の返却を希望する場合は申し出てください。前記3)、4)参照。 ※大学を卒業している場合、大学の成績証明書も提出してください。	<input type="checkbox"/>

5	準備教育課程修了証明書 または 修了見込証明書	中等教育の課程修了まで12年を要しない国の学校教育を修了した者で、わが国の大学に入学するための準備教育課程を修了したもののおよび2027年3月末日までに修了見込みのものは、その修了証明書または修了見込証明書の 原本(オリジナル) を提出してください。	<input type="checkbox"/>
6	国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベル、国際 A レベル、欧州バカロレアのいずれかの資格証書	該当者のみ提出してください。	<input type="checkbox"/>
7	推薦状 通 本学所定 様式②	教育機関(出身学校を含む)等に勤務する人で、推薦者としてふさわしい人からのもの。	<input type="checkbox"/>
8	日本語能力を証明する、以下いずれかの成績通知書 ・「EJU 日本留学試験」 ・「JLPT 日本語能力試験」 ・「JPT 日本語能力試験」	「EJU日本留学試験」の場合は、「成績確認書」を「EJUオンライン」からプリントアウトして提出してください。 「JLPT日本語能力試験」は、合否結果通知書または日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書の原本(オリジナル)を提出してください。 「JPT日本語能力試験」は成績証明書の原本(オリジナル)を提出してください。 ※成績通知書の氏名とその他の提出書類の氏名が一致していることを必ず確認してください。記載に誤りがある場合は、主催団体に連絡し、訂正してもらってください。	<input type="checkbox"/>
9	出願資格(3)の要件を満たしていることを証明する書類	【A 区分:日本語重視型】	<input type="checkbox"/>
		1) 日本語弁論大会、日本語スピーチコンテスト等の上位入賞者。 スピーチ大会の応募要項、主催者名、応募者数、受賞の賞名、受賞の種類、受賞を証明する書類(賞状など)、スピーチ原稿を提出してください。	
		2) 高度な日本語能力を有する者。 「出願書類 8 日本語能力を証明する書類」と同じです。別途提出していただく必要はありません。	
		3) 高等学校において英語を履修していること。 「出願書類 4 出身高等学校の成績証明書」と同じです。別途提出していただく必要はありません。	
		【B 区分:英語重視型】	
		1) 英語を母語とする者、もしくは英語が公用語となっている国・地域に居住する者。 直近6年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類を提出してください。	

9	出願資格(3)の要件を満たしていることを証明する書類	<p>2) 英語能力を有する者。</p> <p>英語能力を証明する、以下いずれかの成績通知書を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL iBT®テスト ・TOEFL ITP®テスト ・TOEIC®Listening & Reading テスト (TOEIC®テスト) ・IELTS (アカデミック・モジュール) <p>注意事項</p> <p>①成績通知書の原本(オリジナル)を提出してください。コピー (Web サイトからダウンロードし、印刷されたものを含む) や TOEIC® テストのデジタル公式認定証は、受け付けません。</p> <p>②TOEFL iBT®スコアは「Test Dateスコア」のみ活用します。「MyBest™ スコア」は活用しません。TOEFL iBT®Home Editionで取得したスコアは対象としない。2026年1月20日以前に実施された試験は、0-120で示されたスコアを対象とする。2026年1月21日以降に実施された試験は、1-6のバンドスコアを対象とする。</p> <p>TOEFL iBT®のスコアを利用する場合、My TOEFL Homeからスコアデータを同志社大学に直送するよう手続きしてください。直送する場合のコードは「7078」です。</p> <p>Official Score Reportを関係機関から直送する手続きを行ったにも関わらず、出願締切日までに本学へスコアカードが届かなかった場合、出願は受理されません。なお、関係機関から直送した書類の到着状況に関する問合せには応じられません。</p> <p>③IELTSオンライン版は対象としない。</p> <p>「IELTS One Skill Retake」で取得したスコアは認めない。</p>	
10	通常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けたことを証明する出身学校作成の書類	<p>3) 日本語能力を有する者</p> <p>「出願書類 8 日本語能力を証明する書類」と同じですので、別途提出していただく必要はありません。</p>	<input type="checkbox"/>
11	<p>【日本国内居住者】</p> <p>以下のいずれか1点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在留カード(両面)のコピー ・特定在留カード(表面)のコピー 	<p>日本国内に居住している場合</p> <p>①在留カードの場合は、カードの両面(表と裏)を A4 サイズの用紙にコピーしてください。</p> <p>②特定在留カードの場合は、カードの表面を A4 サイズの用紙にコ</p>	<input type="checkbox"/>

	<p>・住民票記載事項証明書(コピー不可)</p> <p>【日本国外居住者】</p> <p>以下のいずれか1点</p> <p>・パスポートのコピー</p> <p>・身分を証明する書類のコピー</p>	<p>ピーしてください。</p> <p>③住民票記載事項証明書の場合は、国籍・在留資格・在留期間・在留期間の満了日が記載されているものを提出してください。</p> <p>日本国外に居住している場合</p> <p>①顔写真・氏名が記載されているページを A4 サイズの用紙にコピーしてください。</p> <p>②パスポートがない場合は、政府またはこれに準じる公的機関が発行した身分証明書(顔写真、氏名が記載されたもの)のコピーでも構いません。</p>	
12	<p>受験票</p> <p>本学所定 様式③</p>	<p>①必要事項を記入してください。</p> <p>②出願書類を受理した後、受験番号を付与して出願者宛に返送します。</p>	<input type="checkbox"/>
13	<p>写真票</p> <p>本学所定 様式③</p>	<p>写真(タテ3cm×ヨコ2.4cm、裏面に氏名・生年月日を記入したものを)を貼付してください(出願前3ヵ月以内に撮影したカラー写真で正面、上半身、脱帽、背景無地のもの)。なお、入学が許可された場合には、学生証用写真や教務情報等に使用します。</p>	<input type="checkbox"/>
14	<p>入学検定料納入を証明する書類</p>	<p>クレジットカードで納入した場合</p> <p>クレジットカード決済画面(収納証明書でも可)を A4 サイズの用紙にコピーしてください。</p> <p>日本国内の金融機関で納入した場合(日本国内居住者のみ)</p> <p>取扱金融機関の収納印のある入学検定料振込依頼書(本学所定様式④)を入学検定料振込金証明書 貼付用紙(本学所定 様式⑤)に貼付して提出してください。</p> <p>外国送金で納入した場合(日本国外居住者のみ)</p> <p>取扱金融機関収納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等を出願書類とともに提出してください。</p>	<input type="checkbox"/>
15	<p>宛名シート</p> <p>本学所定 様式⑥</p>	<p>受験案内や選考結果を通知するために使用しますので、送付を希望する宛先を記入してください。</p>	<input type="checkbox"/>
16	<p>書類チェックシート</p> <p>本学所定 様式⑦-1</p>	<p>このチェックシートで出願に必要な書類に不備・不足がないことを確認し、出願書類と共に提出してください。</p>	<input type="checkbox"/>
17	<p>返却依頼書</p> <p>本学所定 様式⑦-2</p>	<p>原本の返却を希望する場合は、出願時に必ず提出してください。出願書類と一緒に同封されていない場合は、書類の返却は一切行いませんので、注意してください。</p>	<input type="checkbox"/>

4. 選考方法

(1) 選考

出願書類および口頭試問および小論文により、総合的に合否を判定します。

(2) 試験日

2026年11月14日(土)

(3) 試験会場

同志社大学 京田辺校地

(4) 試験時間

10:00	10:30~11:40	13:00~
集合	小論文	口頭試問

※集合場所・試験会場の詳細は、入学願書受理後に通知します。

京田辺校地(京都府京田辺市多々羅都谷1-3)

アクセスマップ

https://www.doshisha.ac.jp/information/access/index.html#access_kyotanabe

キャンパスマップ

https://www.doshisha.ac.jp/information/kyotanabe/kyotanabe_map/index.html

(5) 受験上の注意

1) 受験票

①受験票は、出願書類を受理した後に受験資格を確認のうえ、受験番号を付与してグローバル・コミュニケーション学部事務室から出願者宛に2026年11月6日(金)に発送します。11月10日(火)までに届かない場合は京田辺キャンパス教務センター(グローバル・コミュニケーション学部)(電話0774-65-8993)へ連絡してください。

②試験当日は必ず受験票を持参してください。

2) 集合

①集合時間の詳細については、受験票発送の際に通知します。

②筆記試験の場合、試験開始15分前までには試験会場に入室・着席してください。

③筆記試験の場合、試験開始後30分以上遅刻した場合は受験を許可しません。

④口頭試問の場合、集合時間までに所定の会場に入室・着席してください。また、集合時間に15分以上遅刻した場合は受験を許可しません。

3) 不可抗力による事故等について

自然災害(大雨、大雪、地震、津波、台風、洪水等)、火災、停電、感染症またはその他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ(試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります)、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験生負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

4) 受験生への連絡について

上記3)の措置をとる場合の受験生への連絡は、基本的に本学部ウェブサイト上で行います。

<https://globalcommunications.doshisha.ac.jp/>

5) 障がい等のある受験生の受験に際しての要望について

受験方法や入学後の就学について要望がある場合は、出願に先立ち2026年9月17日(木)までに京田辺キャンパス教務センター(グローバル・コミュニケーション学部)(電話0774-65-8993)にお問合せください。

日本国外居住者

各自「短期滞在」ビザ等を取得し、入国してください。なお、本学は「短期滞在」ビザを申請する際の保証人にはなりません。各自で大使館に問合せを行い、必要な条件を自身で確認してビザ申請を行ってください。

5. 選考結果通知

2026年11月27日(金)付で合格通知書を速達郵便で通知します(学内での掲示発表はいたしません)。なお、不合格通知書は送付いたしません。インターネットによる「合格者受験番号案内」をもって代えさせていただきますのでご了承ください。

また、合格通知書の未着に関する以外の、可否に関する問合せ等には一切応じません。

【インターネットによる「合格者受験番号案内」について】

正式な合格者発表は合格通知書の郵送によるものとしますが、受験生の便宜を考慮し、補助的手段としてインターネットによる「合格者受験番号案内」を行います。

①インターネットによる「合格者受験番号案内」の利用方法については、受験票発送時にお知らせします。

②掲載期間は以下のとおりです。

2026年11月27日(金)10:00~2026年11月30日(月)17:00(日本時間)

③アクセス状況に関する問い合わせには一切応じません。アクセスしにくい場合は時間をずらして再度アクセスしてください。

6. 入学手続

(1) 詳細は合格通知時にお知らせします。なお参考として、以下に現段階での2027年4月入学の手続概要を示しますが、変更になる場合がありますので、必ず合格者に送付される「合格通知の送付と入学手続等について」に従って手続を行ってください。

日本国内居住者

第1次手続と第2次手続があります。本学所定の振込依頼書を用いて、金融機関の窓口から「電信扱」で振り込んでください。納入金額と納入方法等詳細は、「合格通知の送付と入学手続等について」でお知らせします。

	納入期間	納入金額
第1次手続	2026年12月14日(月)までに納入してください。	登録料(入学金相当額)
第2次手続	2027年1月12日(火)～ 2027年3月2日(火)	入学手続時納入必要額から登録料を差し引いた金額

⇒上記の手続を完了したことが確認でき次第、「入学許可書」を発行します。

日本国外居住者

2026年12月14日(月)までに入学手続時納入必要額全額を納入してください。納入金額と納入方法等詳細は、「合格通知の送付と入学手続等について」でお知らせします。

本学では、日本国外に居住している合格者のために、留学ビザ取得のために必要な「在留資格認定証明書」の代理申請を行っています。代理申請を希望する場合は、次の手続をしてください。詳細は「合格通知の送付と入学手続等について」でお知らせします。

- ①2026年12月14日(月)までに入学手続時納入必要額の全額を納入し、入学手続を完了させてください。
- ②2026年12月14日(月)までに「在留資格認定証明書」の代理申請必要書類(申請書ならびに日本留学・滞在に必要な経費支弁に関する証明書等)を本学へ送付してください。

■送付先 グローバル・コミュニケーション学部事務室

- ③上記①および②の手続完了が確認できた者から順に、法務省に「在留資格認定証明書」を本学が代理申請します。
 - ④「在留資格認定証明書」が交付されましたら、「入学許可書」とともに送付しますので、居住する国にある日本大使館あるいは総領事館に持参し、留学のビザ発給を申請してください。
 - ⑤日本に入国する際は、必ず留学ビザを取得のうえ、在留資格「留学」で入国してください。留学ビザを取得しなかった場合、帰国して留学ビザを取得しなおす必要があります。
- ※学生納付金を外国送金する際の手数料等を過剰に入金した場合の過剰額は、秋学期の学費に充当します。

■注意事項

いったん提出された書類ならびに納入された登録料または入学金はいかなる事情があっても返還いたしません。入学手続を完了した後、2027年3月31日(水)(消印有効)までに所定の方法(「入学辞退理由書」の提出および「入学許可証」の返還)により入学手続を取り消す場合に限り、学生納付金から入学金を差し引いた金額を返還します。

「在留資格認定証明書」の代理申請を行った者については、上記の手続に加え、「在留資格認定証明書」の返還が必要となります。詳細は入学手続書類で確認してください。

7. 学生納付金

2027 年度入学生学生納付金

※2027 年度入学生の学費および諸会費については、決定次第大学ウェブサイトで公表します。

(URL https://www.doshisha.ac.jp/admissions_undergrad/procedure/payment/index.html)

(参考)

2026 年度入学生の学費および諸会費は次のとおりです。

(単位：円)

学 部	第 1 年次 合 計	入学手続時 納入必要額	学 費 (年額)			諸 会 費
			入学金	授業料	教育充実費	学会費
グローバル・コミュニケーション学部	1,311,000	755,500	200,000	918,000	188,000	5,000

(1) 入学金は初年度のみ徴収します。

(2) 授業料・教育充実費については、各々2分の1が春学期学費および秋学期学費です。

(3) 入学手続時納入必要額とは、入学金全額と春学期学費および諸会費の2分の1です。

*学会について

学会は、機関誌の発行等を通じ、本学の教育研究活動に寄与することを目的に設置されています。

(4) その他

*第2年次以降の学費については、本学ウェブサイト等で確認してください。

*諸会費として、学会費(第1年次と同額)を毎年徴収します。また、第4年次には校友会費を徴収します。

8. 志願者の個人情報の保護について

本学では、「個人情報の保護に関する法律」ならびに本学が定める「個人情報保護の基本方針」及び「同志社個人情報保護規程」に基づき、取得した個人情報の漏洩、流出、不正利用等がないよう必要かつ適正な管理を行います。

入学試験の出願に際して出願者から提供された、住所、氏名、生年月日、写真をはじめとする個人情報は、入学試験の実施、入学手続、奨学生の採用、入学予定者に対して行う各種事業、入学者に対する入学後の教育指導及び、これらに付随する業務のために使用するほか、出願傾向に係る情報を分析して、入学試験制度及び入学広報の改善のために利用します。また、個人が特定できないデータの形で、入学試験制度に関する各種統計処理等のために利用します。

上記業務の一部を外部業者等に委託し、個人データを提供する場合があります。その場合、本学が委託先に対し、契約等により必要な事項を定めることで、当該個人データの安全管理が図られるよう必要かつ適切な監督を行います。

【注意】

1. 学年は4月に始まり、翌年3月に終わります。
2. 入学後は「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める在留資格(原則として「留学」)の

取得が必要です。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできませんが、その場合「留学」の在留資格を対象にした各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。また、「短期滞在」の在留資格で大学に在籍し続けることはできません。

3. 在留資格認定証明書の交付は法務省が行うものであり、不交付となった場合および交付が遅れたことによって発生した費用等について、本学は責任を負うことはできません。不交付となった場合は入学を取り消すことがあります。また、在学期間中に在留資格を失うことになった場合は本学に在籍することはできません。
4. 出願書類または入学手続の際に提出すべき書類に、虚偽または不備があった場合は、入学を取り消すことがあります。

◆外国人留学生公募制推薦選抜入学試験に関する問合せ先

同志社大学京田辺キャンパス教務センター(グローバル・コミュニケーション学部)

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3

TEL 0774-65-8993 (+81-774-65-8993)

FAX 0774-65-7049 (+81-774-65-7049)

E-mail jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp

TOEFL, TOEFL IBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーション・テストング・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物・ウェブサイトは ETS の検討を受けまたはその承諾を得たものではありません。